

## 参院農林水委員会で政府の交渉姿勢を批判 TPP標準なら2国間EPAでの除外規定を外 すのではないのか。その懸念に答えよ。

日本共産党の紙智子議員は、3月30日の参院農林水産委員会で、TPPの合意を通商交渉の出発点とする  
ことの危険性を告発しました。

TPP交渉に際し国会は農産物重要5品目を「聖域」として守ることを決議したにも関わらず、安倍政権  
は「例外を勝ち取った」などとして5品目でも大きく譲歩し、無傷のものがありませんでした。その上、ト  
ランプ米政権のTPP離脱表明後も、TPP協定の合意を今後の通商交渉のスタンダード(標準)にするとし  
ています。紙議員は、米通商代表部のライトハイザー次期代表が議会上院指名公聴会で日本の農業を「第一  
の標的になる」とTPPを上回る合意を目指すことを表明している問題で、「TPPでは国会決議があるからと交  
渉できたと言ってきたが、今度の日米対話ではそれがあつてはならない」「アメリカの要求を拒否できるのか」  
とたどしました。山本有二農水相は、「日米対話の方針は決めていない」として、まともな対策もないまま交  
渉に臨む姿勢が明らかになりました。紙議員は、すでに「拒否するかどうか分からない」という話が出ている  
ことを指摘し、EUもTPP以上の開放を求めていること、RCEP(東アジア地域包括経済連携)でも2国  
間で「除外規定」とされた農産品目が、交渉対象とされる恐れが高いことを指摘し、「除外するのか、維持す  
るのか、それともやめる方向なのか」と求めたところ、飯田圭哉外務省大臣官房審議官は、「述べることは差  
し控えない」としています。(質疑の概要を紹介します。詳細は「議事速報」をご覧ください。)

# “TPPを標準、は危険。日米交渉では重要5品目が 出発点になる。「例外規定」も白紙になるような要求を、 拒否できるのか。

紙智子  
参院議員



質問する紙議員=3月30日  
参議院農水委員会  
(写真はしんぶん赤旗提供)

紙智子議員「安倍総理は施政方針演説で、TPP協  
定の合意は、スタンダードであり、今後の経済連携  
協定の礎となるといわれた。スタンダードになれば  
TPPで合意した重要5品目などが出発点になるの  
ではありませんか」山本有二農水相「米国から2国間  
FTAの要請はまだありません。まだ方針を決めて  
いません」紙智子議員「スタンダードとは、標準にな  
るわけです。米国USTRのライトハイザー氏は上  
院指名公聴会で、農業分野の交渉で日本は第一の標  
的になると強調し、TPPを上回る合意を目指す  
と云っている。政府はTPPで例外を確保したと言  
うが、それも白紙に戻されることになるのではありま  
せんか」「非常に懸念がある。TPPで米国とは牛肉  
を9%まで下げる、豚肉の低価格品重量税は50円ま  
で下げると合意している。政府は国会決議があるか  
らのめないと交渉できたと言ってきたが、今度があ  
るのはTPP合意だけだ。アメリカの要求を拒否す  
る理屈建ては、大臣持っているのでしょうか」

山本有二農水相「まさしくこれからの展開によるもの  
と考えております」紙智子議員「非常にのんびりです  
ね。拒否できる理屈建てがあるのかと聞いた、答えて  
いない。拒否するかどうか分からないという話もでて  
いる。米国の牛肉、豚肉協会はトランプ大統領に書簡  
を送っています。ライス協会は別枠7万トンを決めたT  
PPが発効しなかったことを歓迎している。まさにT  
PP水準以上の開放が求められる危機がある。非常に  
危険だと踏んでかからないと。通商交渉は日米だけ  
でない、他の国々についても懸念が大きい。」「EUは、  
乳製品や豚肉、木材、ワインなど重要品目でTPP以  
上の開放を要求してくると言われ、これも説明されて  
いない。自動車の輸出と引き換えに農業分野を差し出  
すなら、乳製品の輸入が増える。TPP水準で交渉す  
れば、EUともプラスを認める可能性がある」「RCE  
Pは16か国が参加国ですが、12か国とは2国間EPA  
を結び、除外規定がある。米、麦、牛肉、豚肉、砂糖、  
でん粉は除外している。TPP水準に高めるとこの除  
外規定をはずすのか、維持するのどちらでしょうか」  
飯田圭哉政府参考人「その取扱いについて詳細を述べる  
ことは差し控えない」紙智子議員「全然答えになつて  
いない、RCEPがTPP化される危険性がある。情  
報公開や説明が極めて遅れている。事実上秘密裏に進  
めていると言われる状況だ」「全然開示されていない。  
保秘義務もないのに交渉開示されていない」